

Niigata SME Information

にいがた中小企業情報

Feature articles

- ◆上越・柏崎地域組合理事長交流会を開催！
- ◆新潟UBA(新潟県中小企業青年中央会) 令和7年度上期活動報告
- ◆特集「ぼうさいこくたい2025 in 新潟」



【今月の表紙】

酒パック(KURA WHITE)／
新潟エステティシャン・セラピ
スト協同組合

<概要>

新潟エステティシャン・セラ
ピスト協同組合(NETH)は、
認証サロン制度や「新潟療法
(ニイガタセラピー)」など、美
容と地域をつなぐ活動を展開
しています。「新潟療法」の第
一弾として、県北の村上市の
特産「村上茶」を使った村上
茶トリートメントを開発しまし
た。

新潟の酒蔵とコラボした特
別な美容アイテムをご紹介します。

それが、新潟の酒蔵「高野
酒造」と開発したホイップマスク
「酒パック KURA WHITE」。
日本酒や酒粕から生まれた美
容成分を贅沢に凝縮し、ふん
わりホイップのような質感に仕
上げた、新感覚のパックです♪



上越・柏崎地域組合理事長交流会を開催！

～各業界の課題や要望事項を報告～

当 会では県内中小企業組合の交流による活性化と行政への施策要望に向けた意見交換のため、上中下越の3地域毎に各地域の組合理事長等からご出席いただく「理事長交流会」を年1回開催しています。

今年度は、10月8日(水)にホテルハイマート(上越市)において、上越・柏崎地域の組合を対象に開催しました。

当日は、「中小企業組合の現状・課題と中小企業施策への要望について」をテーマに、出席した14名の組合役員の皆様より、各業界及び組合の現状、国・県・中央会への要望を発言いただきました。



業界・組合の現状と課題、施策への要望

出 席した各組合からは、「原材料価格の高騰によって適切な価格転嫁に苦慮している」「組合員の従業員が高齢化しており、人材確保に苦慮している」「後継者不足による廃業によって、組合事業の縮小、経済事業の利用率の低下が課題となっている」「建設業界においては、公共工事の予算減少、人手不足による入札不調が課題となっている」等の報告がなされました。

一方で、「特定地域づくり事業協同組合制度を活用して、関東から派遣労働者を7人採用し、派遣先での就職や起業等によって、地域への定住を目指している」「任意団体から法人化後に組合員が増加した」など、近年設立した組合においては、活発に活動が行われている報告がありました。

要望・課題については、「AIやDX関連の補助金額を増額してほしい」「国には国土強靱化による防災・減災の取組みを地方においても確実に遂行してほしい」等の声が挙がり、「人手不足による人材の確保」「組合員の高齢化による廃業」などが、多くの組合から課題として意見が挙がりました。



出席者より、それぞれの業界・組合の課題や要望について発言いただきました。

中小企業向け施策の紹介

当 日は組合関係者の他、行政・支援機関関係者として、県をはじめ、対象地域の市、公益財団法人にいがた産業創造機構、新潟県信用保証協会、商工組合中央金庫よりご出席いただきました。

中小企業向け支援策として、10月2日から新潟県の最低賃金が65円上がり、1,050円となったことから、国の賃上げ支援策(業務改善助成金、キャリアアップ助成金、働き方改革推進支援助成金)の紹介がありました。

また、新潟県からは、令和7年度9月補正予算案における、物価高騰等の影響を受ける中小企業に対する新たな事業(ビジネス変革応援事業、にいがた経済好循環推進事業)、東京都からの人材採用を目指す「移住支援金対象法人」、今年10月1日から開始した新潟県独自の認定制度である「新潟県多様で柔軟な働き方・女性活躍実践企業認定制度(NI-ful(ニーフル))」等の紹介がありました。



▲発言する県産業労働部地域産業振興課
小泉政策企画員

今後について

本 交流会で頂いた意見や要望については、来年度以降の行政への施策要望等の参考とさせていただきます。

また、当会では、今年の通常総会において承認された「第2次中期運営計画」に基づき、引き続き、組合及び組合員に寄り添った支援を継続してまいります。

なお、来年度においても理事長交流会を開催する予定です。多数のご参加をお待ちしております。



中小企業大学校三条校よりお知らせ

中小企業経営の鍵を握る人材を育成するための研修施設

～中小企業大学校三条校～

中 小企業大学校三条校は国の中小企業支援施策を実施する独立行政法人中小企業基盤整備機構が運営する中小企業のための人材育成施設です。平成4年の開校以来、企業の経営課題に対応した知識や能力を身につけていただける研修を企画・実施しています。

今回は令和8年1月、2月に校外で開催するお勤めの研修をご案内します。

■新潟市会場：1/22(木)～1/23(金)「組織的OJTの仕組みづくり」

2/25(水)～2/26(木)「メディアを活用した広報力強化講座」

■新発田市会場：1/26(月)～1/27(火)「建設業のための現場管理者養成講座」

※各研修の詳細内容は右の二次元コードからご確認ください。



▲申し込み



一全国中小企業青年中央会通常総会 &UBAサミット一

6月20日(金)、鳥取県「ホテルニューオータニ鳥取」において、新潟県中小企業青年中央会ははじめ全国47都道府県青年中央会が加盟する全国中小企業青年中央会(以下、「全青中」)の令和7年度通常総会が開催されました。当日上程された議案は全て承認されました。

全青中からは、「昨年度に引き続きスローガンのテーマを『せめる まもる UBA』とし、一定の制約の下でも積極的に活動を実施し、組合青年部を発展させ新しい世代に必ず繋いでいくという信念のもと行動し、研鑽し、業界全体の発展に尽力します。」との方針が語られました。

また、UBAサミットも同時に開催され、各都道府県会長と事務局の合同会議の形態で、各都道府県の取り組みや課題、その課題に対して今後どのように取り組んでいくかなどについて、活発な意見が交わされました。今後の各都道府県UBAの運営に大変参考になりました。

懇親会も大いに盛り上がり、11月に岩手県で行われる全国講習会と来年度の茨城県で行われる通常総会のPRも行われました。



▲全国中小企業青年中央会通常総会

一関東甲信越静岡ブロック中小企業青年中央会 令和7年度第1回代表者会議(通常総会)一

7月4日(金)、神奈川県「メルキュール横須賀」において、関東甲信越静岡ブロック中小企業青

年中央会の令和7年度第1回代表者会議(通常総会)が開催されました。当ブロック青年中央会の会長及び幹事県は1年ごとの持ち回りであり、本年度は神奈川県が幹事県となります。

総会においては上程された全議案が承認され、第2号議案の役員改選においては、当ブロック青年中央会の会長が、昨年度会長を務めた井上氏(栃木県)から高野氏(神奈川県)へ交代となりました。また、総会後には交流会・情報交換が行われ、各県代表より今年度の事業方針や取組内容について報告がなされました。

次回(第2回)の会議につきましても神奈川県での開催を予定しています。



▲関東甲信越静岡ブロック中小企業青年中央会
令和7年度第1回代表者会議(通常総会)

一令和7年度新潟県中小企業青年中央会 通常総会&知事懇談会一

7月16日(水)、ホテルイタリア軒において、令和7年度通常総会及び知事懇談会を開催しました。通常総会では上程された全議案が承認されました。

第4号議案の役員選任においては、新潟市管工事業協同組合青年部の倉田氏が新会長に就任されました。

また、来年、創立50周年を迎えるため、第5号議案の50周年記念事業の件においては、令和8年9月11日(金)にホテル日航新潟にて記念式典を開催することが決定致しました。

総会終了後には、花角知事をお招きしての知事懇談会を開催しました。以下の5団体より、販売促



▲新潟県中小企業青年中央会通常総会

進、人材確保、DX、地域支援というテーマで1年間取り組んだ事例を知事へ発表し、その内容に対して知事より総括をいただきました。

①新潟県すし組合青年部

『SNSを活用した情報発信の研究』

②新潟県自動車車体整備協同組合青年部会

『ペイントキッズアカデミー』

③新潟県印刷新世会×新潟県中小企業診断士協会青年部会

『印刷業界の課題解決研究事業～DX取組推進～』

④新潟県環境整備事業協同組合青年部×長岡アイティ事業協同組合青年部

『浄化槽検査のデジタル記録・管理効率化』

⑤新潟県主食集荷商業協同組合青年部

『青年部活動のありかた～子どもの未来応援プロジェクトへの支援～』

一連の発表を聞いた知事からは、「皆さんのように若い人たちが、切磋琢磨をしながら活動している、挑戦されているということは、本当にうれしいし、頼もしいことである。これからもいろんな挑戦を続けていただきたい。」とコメントをいただきました。



▲知事懇談会での事例発表



▲花角知事からのコメント

新会長就任挨拶



倉田 光 会長

今期、青年中央会会長の任をお預かりしました、新潟市管工事業協同組合青年部の倉田光です。

我々中小企業は労働力不足や原材料価格の高騰等、様々な課題に直面しています。青年中央会として、各団体・各企業の成長発展の一助となれるよう、皆様と共に新たな挑戦に立ち向かい、未来に向けて前進していきます。

星野前会長と同様に、会員皆様方のご支援とご協力を切にお願い申し上げまして、甚だ簡単ではございますが就任の挨拶とさせていただきます。

新潟県中小企業青年中央会では会員を募集しています！青年部が無い組合も、個人での加入が可能です。ご興味がある方は連携推進課までご連絡ください。

新潟県中小企業団体中央会 創立70周年記念式典開催のご案内

当会では、今年度創立70周年を迎えるにあたり、会員の皆様と更なる団結強化を図り中小企業組合の発展を期するため、記念式典を開催します。

開催日 令和7年11月28日(金)

表彰式 午後2時00分～

記念パーティ 午後3時30分～



開催場所 ANAクラウンプラザホテル新潟（新潟市中央区万代5-11-20）

本式典は、これまでの歩みを振り返るとともに、さらなる連携の強化により中小企業の継続・発展を祈念する重要な機会となります。当日が有意義なひとときとなりますよう、役職員一同、万全の準備を進めております。皆様のお越しを心よりお待ちしております。式典の様子は、後日、本誌でもご紹介いたします。

労働局からのお知らせ

11月は『しわ寄せ』防止キャンペーン月間です

大 企業と取引先中小事業者は共存共栄！
適切なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更などはやめましょう！
委託事業者も受託事業者も共に「働き方改革」に取り組みましょう！

11月は「しわ寄せ」防止キャンペーン月間です。

STOP! しわ寄せ

仕様変更! 納期は厳守。厳しいよ。

その無理な発注の「しわ寄せ」で取引先が途方に暮れていませんか?

できない相談じゃないよね?

厚生労働省 | 都道府県労働局 | 労働基準監督署 | 中小企業庁 | 公正取引委員会

▶ ぼうさいこくたい2025が開催されました

防災推進国民大会(通称 ぼうさいこくたい)は、内閣府等が主催し、産学官民の関係者が日頃から行っている防災活動を発表し、交流する日本最大級の防災イベントです。



2016年から開催しており、2025年(第10回)は、9月6日(土)及び7日(日)に新潟県新潟市の朱鷺メッセで開催されました。

新潟県では、近年2004年の中部地震から2024年の能登半島地震まで様々な災害を経験しており、本大会では様々なセッション、ワークショップ、ブース展示、パネル展示、屋外展示等によりその経験や教訓を将来の災害の備えにつなげる学びができるものとなっていました。

全国石油商業組合連合会・新潟県石油商業組合
「災害に備えた燃料備蓄の推進(満タン&灯油プラス1缶運動)」
「命を守る石油・石油暖房機器」



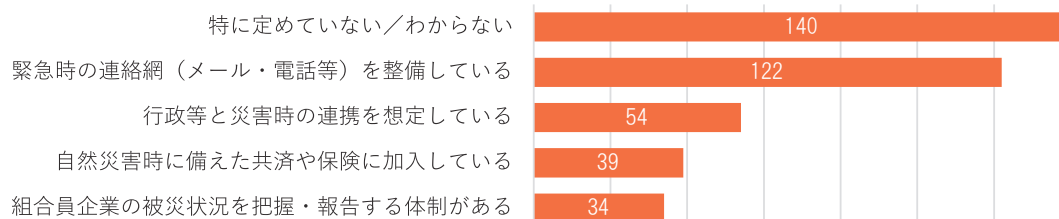
新潟ドローン協同組合
「支援物資輸送をおこなう物流及び災害調査ドローンソリューション」



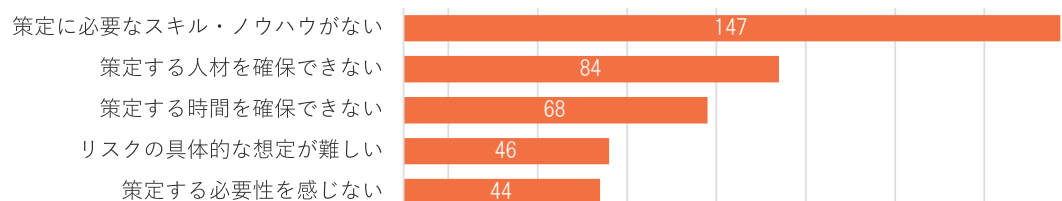
防災対策に関するアンケートを実施しました

今 般、ぼうさいこくたい2025にあわせて、組合等における防災対策の実態と課題を認識するためアンケートを実施し、292件の回答をいただきました。
その回答内容の一部を報告します。

事前対策として組合内で実施していること



事業継続力計画・BCPを策定していない理由



災害等の非常事態に備えるために「事業継続力強化計画」を策定しましょう！！

○事業継続力強化計画とは

国では、中小企業の自然災害等に対する事前対策（防災・減災対策）を促進するため、「中小企業の事業活動の継続に資するための中小企業等経営強化法等の一部を改正する法律（中小企業強靱化法）」を2019年（令和元年）7月16日より施行、同法において、防災・減災に取り組む中小企業がその取組内容（事前対策）をとりまとめた計画（名称：事業継続力強化計画）を国が認定する制度を創設しました。

計画を策定することにより、事業の中核となる業務や、有事の際の対応体制を改めて見つめ直す機会となるなど、「平時の経営強化」にもつながるとともに、認定を受けた中小企業は、税制措置や金融支援、補助金の加点などの優遇措置が受けられます。

組合として連携型の事業継続力強化計画を策定すると上記の優遇措置について参加企業全社が対象となります。

アンケートでは、策定においてスキル・ノウハウ・人・時間に課題を感じているとの結果がでています。新潟県中小企業団体中央会では、行政等と連携しながら「事業継続力強化計画」策定支援を行っております。ぜひお気軽にご相談ください。



執筆者

山内 竜太(やまうち りょうた) 弁護士

【経歴】

中村・大城国際法律事務所のアソシエイト弁護士として一般民事から企業法務まで幅広い案件を担当。新潟雇用労働相談センター相談員、新潟県駐在弁護士としても活動。



理事が負う法的義務とはどのようなものでしょうか？

今回は、理事が負う法的義務について見ていきます。

まず、組合と理事の法律関係は委任契約であるため、理事は、委託者である組合に対し、善管注意義務を負います(民法644条)。また、理事は、中小企業等協同組合法(以下「中協法」といいます。)36条の3によって忠実義務も負います。なお、忠実義務は、一般に善管注意義務よりも重い義務と解されています。

— のように、理事は、組合に対し、善管注意義務や忠実義務を負い、その法的責任は重いものと言えます。ここで、具体的にどのような点に注意すべきかについて説明したいと思います。

第一に、任務を怠って組合に損害を与えた場合には、当該理事は、組合に対し、その損害を賠償する責任があります(中協法38条の2)。また、理事が、任務を怠り、それが過失にとどまらず、悪意または重過失によって第三者に損害を与えた場合、当該第三者に対し、その損害を賠償する責任を負うことになります(中協法38条の3)。

第二に、善管注意義務・忠実義務を担保するために、理事に対しては、以下のような制約が課されています。

まず、①自己取引や②利益相反取引を行う場合には、理事会の承認が必要とされています(中協法38条1項)。

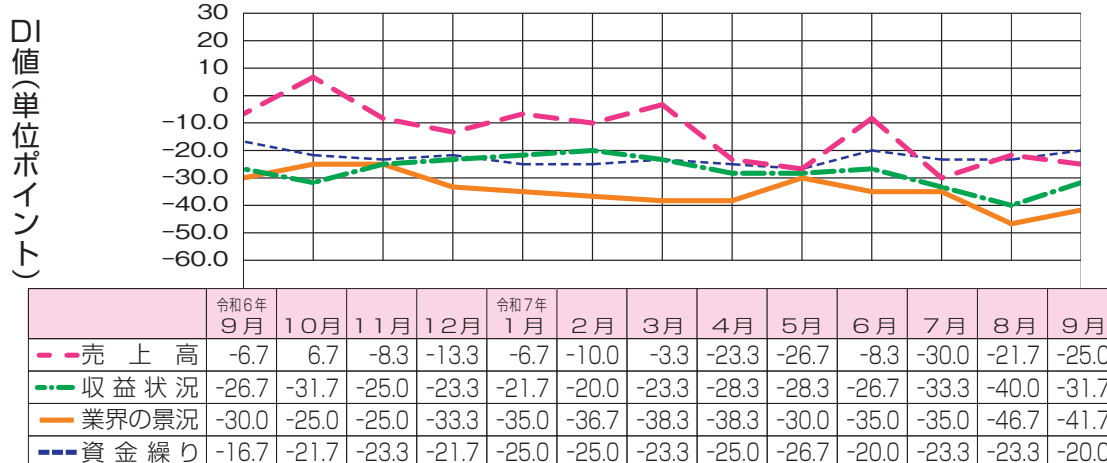
自己取引は組合と理事が直接取引をする場合を指し、利益相反取引は債務保証のように組合と理事の利害が対立する取引を言います。このような取引は、理事が組合の利益を犠牲にして自己の利益を得ようと、善管注意義務や忠実義務に反して行動する危険性があるので、理事会の承認がある場合にしかできないとしています。同様の観点から、③競業禁止(中協法37条2項)も課されています。

そのほか、④組合員への報告義務(中協法36条の3第3項、会社法357条)に加え、⑤お手盛り禁止(中協法36条の3第3項、会社法361条)や⑥特別利害関係のある理事の理事会決議の議決の参加禁止(中協法36条の6第2項)といった制約もあります。⑤は、理事の報酬は定款や総会で決めるというもので、理事の報酬を理事自身が決定できるとしますと、組合の利益を無視して青天井で自己の報酬を上げかねないので、規定しています。⑥は、理事会決議に特別利害関係のある理事が入ると、当該理事が、組合の利益を犠牲にして自己の利益を図る危険性があることから、その決議には参加できないとするものです。

上述のとおり、理事は、善管注意義務や忠実義務といった重い法的義務を負い、それを担保するための規制を受けています。

このような法的責任を踏まえつつ、適切な組合運営に努めていただければと思います。

業界の景気動向（前年同月比）全業種DI値（令和6年9月～令和7年9月）



概況

9月のDI値は前月と比べ、3項目改善、1項目悪化となった。「収益状況」DI値は8.3ポイント改善のマイナス31.7ポイント、「業界の景況」DI値は5.0ポイント改善のマイナス41.7ポイント、「資金繰り」DI値は3.3ポイント改善のマイナス20.0ポイント、「売上高」DI値は3.3ポイント悪化のマイナス25.0ポイントとなった。

前年同月比でみると、全項目で悪化となった。「売上高」DI値は18.3ポイント悪化、「収益状況」DI値は5.0ポイント悪化、「業界の景況」DI値は11.7ポイント悪化、「資金繰り」DI値は3.3ポイント悪化となった。

製造業

食料品

新潟県漬物工業（協） 新潟市西区で栽培される加工用大根の種まきは完了した。現状強い雨により畝の高さが削られているのが心配される。種まきの際に多少盛り土されたところに種をまくのだが、盛り土された所は柔らかく根張りの良さも促進し通気性もあることから初期の病気の抑制に繋がる。言わば大根にとってはゆりかごの役割を担う。畝が低い状態では短根で重量不足や地中での病気の可能性がある。しかしながら熱波や台風の影響を受けた近年の凶作から見ればまだいいスタートかもしれない。

新潟県米菓工業（協） 原料米価格の高止まりに加え、原料米が不足しており、今後の事業継続に懸念を抱く企業が出てきている。

繊維工業

中央国際（協） 縫製業種の受注状況悪化。

木材・木製品

魚沼木材（協） 忙しくさせてもらっている。雪の降る時期が近くに来ているため駆け込みでの物件が多く年内はある程度見込みが付いた。ただし、次年度以降はまったく読めず今から仕事づくりをしていなくてはならない。東京であるイベントにも出展が決まり、さまざまなことが少しずつ表立って動いてきている。普段の仕事との両立ができるように調整する。

新潟市建具（協） 9月も前年並みの売上は出ているが、仕事量は少し減少してきている。今後の動きに不安がある。

佐渡木材工業（協） 原木の動きは鈍い。業界内に活気はあまりない。展示会出展に向けて地域材を使用した商品を開発中。

窯業・土石製品

新潟生コンクリート（協） 令和7年9月の生コン出荷量は前年同月比113.62%。令和7年9月の累計は前年度比112.18%。

北越生コンクリート（協） 9月は、想定50%出荷にとどまり、前年対比で54%の減。昨年は、9月、10月の出荷がピークとなったが、今年度は現場の予定が変更となったりして先行きが不透明となっている。今年度の想定数量の見直しでさらに大きく減となる予想。

長岡地区生コン事業（協） 9月出荷量は、約1.0万㎡、前年比180%、4月～9月出荷量は約6.0万㎡となり前年比155%となった。大型

物件への出荷も順調で、昨年度を上回る出荷が続いているが、降雪前までは同様になると見込まれている。

鉄鋼・金属

日本金属ハウスウェア（工） 全体的に国内需要の低迷を感じている。米国追加関税の影響により、先行きの不安は強まっているようだ。業界全体としては、業務用厨房に一部動きがあったようだが、依然として、食品の高騰により、食卓台所用品の購買意欲は減退している。多くの企業が新規取引先を求めて、見本市などに出展している。資材価格や人件費の上昇でますます収益の低下が予想され、今後の動向に注視する必要がある。

（協）三条金子新田工場団地 地場では受注量が減少し不況感が広がっている。コストの高止まりのなか国内需要が停滞し、米国の関税措置の影響から特に自動車関連の受注が減ってきている。海外向けの販売に期待をかけている企業が多いが、価格面の競争が厳しい。

新潟県鉄骨（工） 副資材価格や消耗品費の上昇分が加工費を圧迫し、収益は厳しい状況が続いている。現在、首都圏物件をメインとする大規模工場やその協力工場の稼働率は平均水準を保っているが、地元物件に頼っている小規模工場の稼働率は低く、二極化が目立つ。収益状況・資金繰り悪化の回答が増えている。雇用状況は5社が増加、4社が減少の回答があった。建設費の高騰で、全国的に計画中止・延期の物件が増えている。見積件数及び引合い物件が少なく、首都圏物件の再開発物件も動きが悪く、今年も厳しい需要環境である。

一般機器

加茂鉄工業（協） 先行きの見通しは厳しい状況。

長岡鉄工業（協） ものづくり企業を取り巻く環境は、トランプ関税の影響を始め、原材料やエネルギー価格の高騰、人材不足など、かつてない困難に直面している。技術革新やデジタル化が加速する中、私たちの環境は大きな変革期を迎えている。各々企業が付加価値の高い製品作りに挑戦して、前向きにチャレンジしている。

上越鉄工（協） 米価上昇により農機の購買意欲は上昇。建機も僅かだが好転の方向。新設住宅着工数が対前年比で減少したため、いつ売上に影響が出るか不安。

非製造業

卸売業

新潟青果卸売（協） 市場全体では、入荷量、キロ単価取引金額共に前年より数ポイント上の数字であった。組合員各社は業務内容によりばらつきがあるものの、組合全体では前年並の数字であった。数年前から、基本的に量不足の中での取引となっている。

新潟花き卸売（協） 昨年の秋彼岸需要期は大雨により客足が減り、花店は大打撃を受けた。そのせいか今年の秋彼岸は注文・仕入を控えるような動きが見られ、入荷量が減り単価も低い状況が続く、厳しい販売となった。総入荷数は昨年比94%、販売金額は88%だった。

新潟県袋セメント卸（協） 9月の出荷実績は、前年同月比で106.7%と前月から引き続き出荷数量は増加している。4月～9月の今年度の累計出荷数量は前年度比97.1%となり、今のところは想定以上に推移しているが、私製袋の値上がりで進んでおらず、懸念材料となっている。

小売業

新潟県化粧品小売（協） 売上は前年より5～10%減少の店が多かったようだ。来店人数の減少が響いている。客単価が減少している。お客様の高齢化が進み、物価高の影響が大きく響いている。

新潟県スポーツ用品小売商（協） 学校が始まり、少し動きが出てきた。秋の大会に向けて売上増を期待している。

商店街

加茂市商店街（協） 9月は雪椿スタンプの売上が前年同月比で138.3%と非常に良かった。一因として、加茂商工会議所が主体で行ったイベント「カモナイトバザール」の影響もあったと思われる。ただ今後も小売業は厳しいと思われる。

上越市本町四丁目（商振） ゆめカード売上高は前年同月比95%。駐車場利用売上高は前年同月比107.21%。

長岡市商店街連合会 9月はホコ天イベントが2回開催された。2回とも通常と会場が違いアオーレ長岡前の車道での開催で、アオーレのイベントと共催というような形となった。会場がいつもより狭い範囲ということもあり賑わいが凝縮されて良い方向へ効果が表れた。来年以降の開催で会場の検討材料となったので良い結果であった。

新潟市上古町（商振） ライブ、イベントの回数が増えたことが売上・収益増加の要因としてあげられる。

（協）一ノ木戸商店街 9月度は「売上高」で前年同月に対し増加の店舗20%、不変40%、減少40%、「収益状況」は好転0%、不変90%、悪化10%で、「スタンプシールの売上」は昨対152%、「スタンプ帳の回収」は昨対128%である。10月12日に「コスサン」というコスプレイベントが当商店街で開催され、多くの若者が集まり撮影会などを行う。当日の天候だけが気にかかる。

サービス業

新潟県旅館ホテル（生同） 佐渡及び大型旅館が健闘しているが、全体ではマイナス。

新潟県広告美術業（協） 9月は屋外イベントが多い。また炎天下でできなかった工事を行うことができる。

新潟県料理（生同） 宴席数の減少が続く。

新潟県建築設計（協） 新規受注なし。

新潟県ビル管理（協） 高齢化、求人に応募がないなど、常に人材不足が問題である。

建設業

新潟左官工事業（協） 物件に対して人員が不足しており、常に忙しい状況ではないが、以前よりは仕事量が落ち着いてきているものと思われる。仕事量が減少していても、労務費や経費を削減せず単価に転嫁していきたいと考えているが、元請の理解を得られないケースが多く、思うようにいかないのが現状である。

新潟県防水工事（協） 受注案件が集中し、人員不足。

運輸業

赤帽新潟県軽自動車運送（協） 運送業界の2024年問題の影響が、間接的にはあるが出てきていると思う。売上がこの調子で増えることを期待したい。

（一社）新潟県ハイヤー・タクシー協会 9月に入ったがまだ暑い日が続いている。金曜日から土曜日の週末には町の人通りが回復するが、他の平日はそれほどでもなく、全体としてはタクシー利用は低迷した。10月の大幅な最賃引き上げの答申が出され、今後の会社経営を懸念する声が聞こえ始めている。

その他の非製造業

村上市岩船郡砂利（協） 国交省発注の朝日温海道路関係工事の進捗の鈍化により、骨材の出荷量が減少し、この先の新規発注も少ない見通しとなり、厳しい状況が続いている。

長岡砂利採取販売（協） 令和7年9月度の骨材生産量は、前年同月比で146.8%、1月から9月までの前年累計比で119.8%であり、前年と比較して増加している。新しい政権の地域経済活性化策の早期実現に期待したい。

新潟県の経済前線

第四北越リサーチ&コンサルティング株式会社

9月期 緩やかに持ち直している

～米国の関税政策が県内経済に与える影響が懸念される～

概況

設備投資と個人消費は持ち直している。一方、住宅投資は弱含んでいる。総じてみると、県内経済は緩やかに持ち直している。

生産活動

横ばいで推移している。

食料品は量販店向けが堅調であり、高水準での生産が続いている。化学は生成AIの需要拡大に伴い、関連製品が好調であるものの、一部で在庫調整が続いていることから、増勢が鈍化している。汎用・生産用・業務用機械は国内で省力化製品などに底堅さがみられる一方、中国など海外向けが不調であり、横ばいで推移している。金属製品は建築用製品や家庭向け調理器具などを中心に、弱含んでいる。

設備投資

持ち直している。

製造業では、一般機械で工場や事務所新設などの大型投資が実施されるほか、その他製造で生産能力増大のための投資が伸びており、投資額は前年比増加となっている。非製造業では、省エネルギーを目的とした投資が続いている。ただし、小売で前年に大規模な投資があった反動が出ており、全体の投資額は前年をやや下回っている。

雇用状況

横ばいで推移している。

8月の有効求人倍率（パートタイム含む全数・季節調整済）は1.40倍となった。前月比0.02ポイント低下し、2カ月ぶりに前月を下回った。

8月の新規求人数（同・実数）は前年比7.8%減となった。卸売業・小売業と宿泊業・飲食サービス業が大きく減少し、2カ月ぶりに前年を下回ったものの、労働需給の逼迫は続いている。

個人消費

持ち直している。

8月の小売業販売額（注）は前年比2.1%増となった。百貨店・スーパーなどが増加し、6カ月連続で前年を上回った。9月の乗用車（軽含む）新規登録・届出台数は前年比0.4%減となり、3カ月連続で前年を下回った。

住宅・公共投資

住宅投資は弱含んでいる。

8月の新設住宅着工戸数は前年比3.8%減となった。持家などが減少し、2カ月ぶりに前年を下回った。

公共投資は横ばいで推移している。

8月の公共工事請負金額は国などの発注額が減少し、前年比9.9%減となった。2カ月連続で前年を下回ったものの、6～8月期では前年比2.1%増と基調としては横ばいで推移している。

（注）小売業販売額：経済産業省「商業動態統計」の百貨店・スーパー、家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンター、コンビニエンスストアの全店販売額を合計したもの。

『にいがた中小企業情報』へ情報をお寄せください！

新潟県中小企業団体中央会では、本誌を組合活動のPRにお役立ていただくために、組合の特色のある取組みやイベント、記念事業、各種研修会開催等の情報を随時募集しています。是非情報をお寄せください。

また、組合で取り扱っている商品など、表紙に掲載する写真も募集しています。

※誌面スペースの都合上、掲載時期や内容等を調整させていただく場合がございます。



わたしたちは
ハッピー・パートナー企業の
一員です



わたしたちは
イクメン応援プラス認定企業の
一員です



わたしたちは
持続可能な開発目標(SDGs)に
取り組んでいます

新潟県中央会 11 月 行事予定

名称	日程	会場等	お問い合わせ先
全国大会(広島大会)	12日(水)	広島県立総合体育館 (広島グリーンアリーナ)	総務企画課
拡大正副会長会議	19日(水)	新潟グランドホテル	総務企画課
法律相談窓口	20日(木)	中央会会議室 (対面又はオンライン)	各組合担当者
創立70周年記念式典	28日(金)	ANAクラウンプラザホテル新潟	総務企画課

10月17日時点で把握している情報を掲載しています。

※当情報誌(にいがた中小企業情報)にて、**貴組合をPRしてみませんか?**【お問い合わせ先】 当会 総務企画課 TEL:025-267-1100